



2022年3月期 連結業績

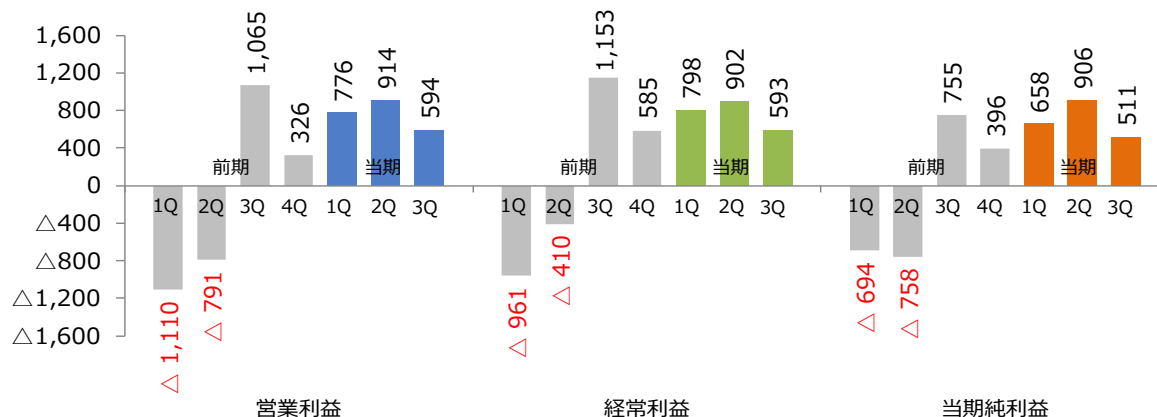
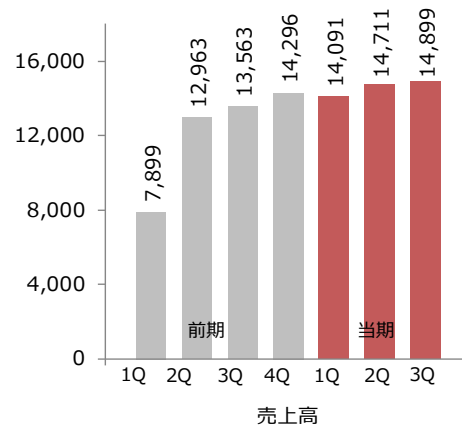
- ❖ 第3四半期実績
- ❖ 通期予想

連結業績ハイライト (2022年3月期 3Q・累計実績)



(単位：百万円)	2021年3月期				2022年3月期							
	3Q実績	売上高 比率	3Q累計 実績	売上高 比率	3Q実績	売上高 比率	前年同期比増減			3Q累計 実績	売上高 比率	
							金額	率	率(除為替)			
■ 売上高	13,563	-	34,426	-	14,899	-	1,336	9.9%	5.7%	43,703	-	
■ 営業利益	1,065	7.9%	△ 836	△ 2.4%	594	4.0%	△ 471	△ 44.3%	-	2,285	5.2%	
■ 経常利益	1,153	8.5%	△ 218	△ 0.6%	593	4.0%	△ 560	△ 48.6%	-	2,294	5.3%	
■ 親会社株主に帰属する 四半期純利益	755	5.6%	△ 697	△ 2.0%	511	3.4%	△ 244	△ 32.3%	-	2,076	4.8%	
為替レート	米ドル	104.51円	-	106.11円	-	113.71円	-	9.20円	8.8%	-	111.10円	-
(期中平均)	ユーロ	124.53円	-	122.37円	-	130.07円	-	5.54円	4.4%	-	130.62円	-

※「収益認識に関する会計基準」等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、当第3四半期連結累計期間の売上高は131百万円増加、営業利益は78百万円減少、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ2百万円増加しています。詳しくは決算短信注記をご参照下さい。



3Qは、部品・原材料不足や輸送LT長期化の影響を大きく受けたものの、印刷需要や設備投資の増加に加え、為替の円安効果もあり、売上高・利益とも計画を上回り堅調に推移

■ 3Q売上高

- 前年同期比 1,336百万円の増収(+10%、内為替影響 +560百万円) 、予想比上振れ、一昨年同期比 +5%
- 部品調達を積極的に進めたものの、一部入手困難な部材もあり生産面で影響を受けた一方で、エントリーモデルの販売拡大と、それに呼応して主力製品も販売数量を伸ばし、インクや保守部品も順調に伸長

■ 3Q営業利益

- 前年同期比 471百万円の減益(-44%、内為替影響 +168百万円)、予想比上振れ、一昨年同期比 +66%
- 前年上期の構造改革効果により売上原価が大幅に低減した前年同期と比較して、部材・輸送コストの高騰影響により売上原価率が上昇。販売活動の本格化に伴う販管費の増加等もあり、大幅な減益となったものの、通期業績予想の前提に対しては上振れ

■ 3Q末バランスシート

- 重点指標のCCC*は、世界的な部材不足の影響を受けることなく製品を市場に供給し、需要回復の機を捉え販売機会を最大化することを目的に、部品等を積極的に調達・確保する方針の下、前期末比で増加

2020/12/末:3.70月→2021/3/末:3.60月→6/末:4.22月/→9/末:4.35月→12/末:4.27月

*CCC : Cash Conversion Cycle、今期から破産更生債権を含めたため、前期開示値から数値が変化

営業利益増減要因 (21/3期 3Q累計 vs 22/3期 3Q累計)



【通貨別為替影響額】

USD/	106.11円 → 111.10円	+231
EUR/	122.37円 → 130.62円	+435
CNY/	15.44円 → 17.25円	△283
AUD/	74.29円 → 82.70円	+82
TRY/	14.57円 → 12.18円	△90
その他 (BRL、IDR、INR等)		+102
	合計	+476

【売上・原価・営業利益への為替影響】

売上高 1,537 - 売上原価 675 - 販管費 384 = 営業利益 476

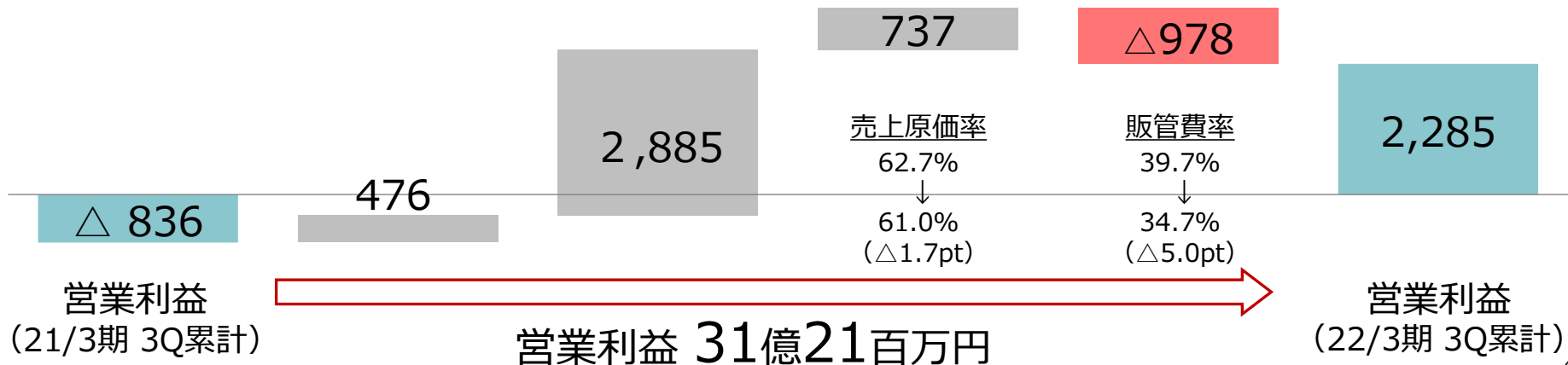
売上原価率増減の要因

21/3期3Q累計原価率(62.7%)には構造改革に伴う原価率悪化分(1,401百万円: 4.1%)が含まれるため、これを除く実態の原価率(為替レートを22/3期3Q累計と同一とした場合: 57.9%)との比較では、22/3期3Q累計実績は3.1pt悪化
⇒ 部品・原材料、輸送費高騰の影響

販管費増減の要因

製品補修費	364
研究開発費	290
貸倒引当金	△260
人件費	241
販促費	224
交通費	135
その他	△16
合計	978

(単位: 百万円) ①為替影響 ②売上高増減影響 ③売上原価率増減影響 ④販管費増減影響



市場別売上高 (2022年3月期 3Q実績)



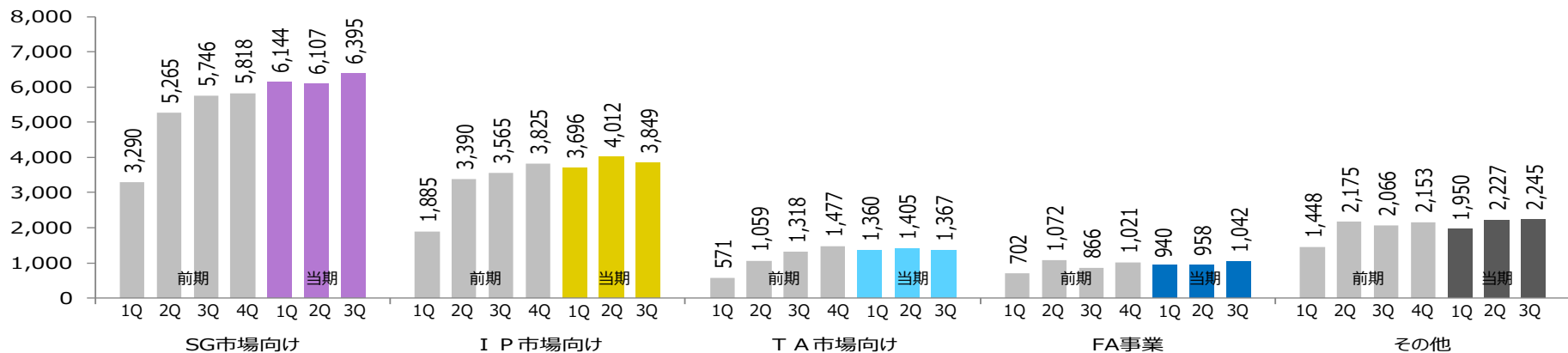
(単位：百万円)	2021年3月期		2022年3月期				
	3Q実績	構成比率	3Q実績	前年同期比増減			構成比率
				金額	率	率(除為替)	
SG市場向け	5,746	42.4%	6,395	648	11.3%	6.5%	42.9%
IP市場向け	3,565	26.3%	3,849	283	8.0%	3.6%	25.8%
TA市場向け	1,318	9.7%	1,367	48	3.7%	△1.0%	9.2%
FA事業	866	6.4%	1,042	176	20.3%	20.2%	7.0%
その他	2,066	15.2%	2,245	179	8.7%	-	15.1%
合計	13,563	100.0%	14,899	1,336	9.9%	5.7%	100.0%

- SG市場向け: 日本、北米、欧州など先進国を中心に、設備投資増加に伴いエントリーモデルのJV/UJV100に加え主力製品のJV150やJV/UCJV300等の本体販売が好調、インクも堅調な伸び
- IP市場向け : 北米及び欧州は、部材不足や輸送LT長期化の影響により、3Qに市場投入した新製品が潤沢に供給できず低調だったものの、日本、アジアで販売を伸ばす
- TA市場向け : 欧州、北米で販売を伸ばしたものの、アジア、日本で前年同期を下回る
- FA事業 : 景気回復に伴う需要増加により、FA装置、金属加工、半導体製造装置等の事業が好調

市場別売上高 (2022年3月期 3Q累計実績)



(単位：百万円)	2021年3月期		2022年3月期				
	3Q累計 実績	構成比率	3Q累計 実績	前年同期比増減			構成比率
				金額	率	率(除為替)	
SG市場向け	14,303	41.5%	18,647	4,344	30.4%	25.2%	42.7%
IP市場向け	8,841	25.7%	11,558	2,716	30.7%	25.9%	26.4%
TA市場向け	2,949	8.6%	4,133	1,183	40.1%	34.2%	9.5%
FA事業	2,641	7.7%	2,940	298	11.3%	10.9%	6.7%
その他	5,690	16.5%	6,423	732	12.9%	-	14.7%
合計	34,426	100.0%	43,703	9,277	26.9%	22.5%	100.0%



エリア別売上高 (2022年3月期 3Q実績)



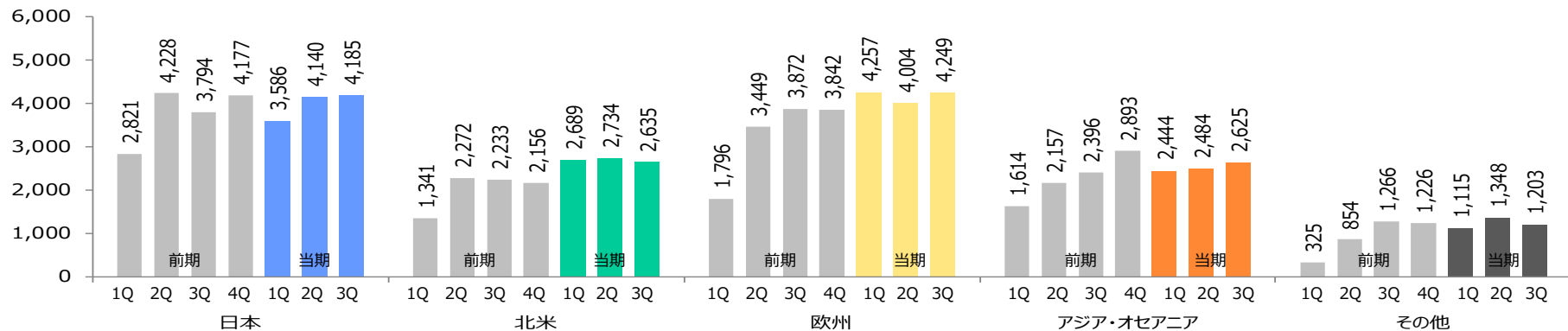
(単位：百万円)	2021年3月期		2022年3月期			
	3Q実績	構成比率	3Q実績	前年同期比増減		構成比率
				金額	率	
日本	3,794	28.0%	4,185	391	10.3%	28.1%
北米 (現地通貨/\$)	2,233 21.3M	16.5% -	2,635 23.1M	401 1.8M	18.0% 8.4%	17.7% -
欧州 (現地通貨/€)	3,872 31.0M	28.6% -	4,249 32.6M	377 1.5M	9.7% 5.1%	28.5% -
アジア・オセアニ	2,396	17.7%	2,625	228	9.6%	17.6%
その他	1,266	9.3%	1,203	△63	△5.0%	8.1%
合計	13,563	100.0%	14,899	1,336	9.9%	100.0%

- 日本：経済活動の回復に伴いSG、IPがインクも含め好調に推移、FAの販売増も寄与し増収
- 北米：IPは新製品を潤沢に供給できなかった影響で低調だったものの、前年同期が高水準の販売だったSG、TAが当期も好調に販売を伸ばし、為替の円安効果もあり増収
- 欧州：IPが新製品供給不足の影響で販売減となったものの、全体ではSG、TAの販売が好調に推移し、為替の円安効果もあり増収
- A-O：国により濃淡はあるものの、中国やオーストラリアが堅調に推移、韓国、インドネシア等の回復もあり増収

エリア別売上高 (2022年3月期 3Q累計実績)



(単位：百万円)	2021年3月期		2022年3月期			
	3Q累計実績	構成比率	3Q累計実績	前年同期比増減		構成比率
				金額	率	
■ 日本	10,844	31.5%	11,911	1,067	9.8%	27.3%
■ 北米 (現地通貨/\$)	5,847	17.0%	8,058	2,211	37.8%	18.4%
■ 欧州 (現地通貨/€)	9,118	26.5%	12,511	3,392	37.2%	28.6%
■ アジア・オセアニア	6,168	17.9%	7,554	1,385	22.5%	17.3%
■ その他	2,446	7.1%	3,666	1,220	49.9%	8.4%
合計	34,426	100.0%	43,703	9,277	26.9%	100.0%



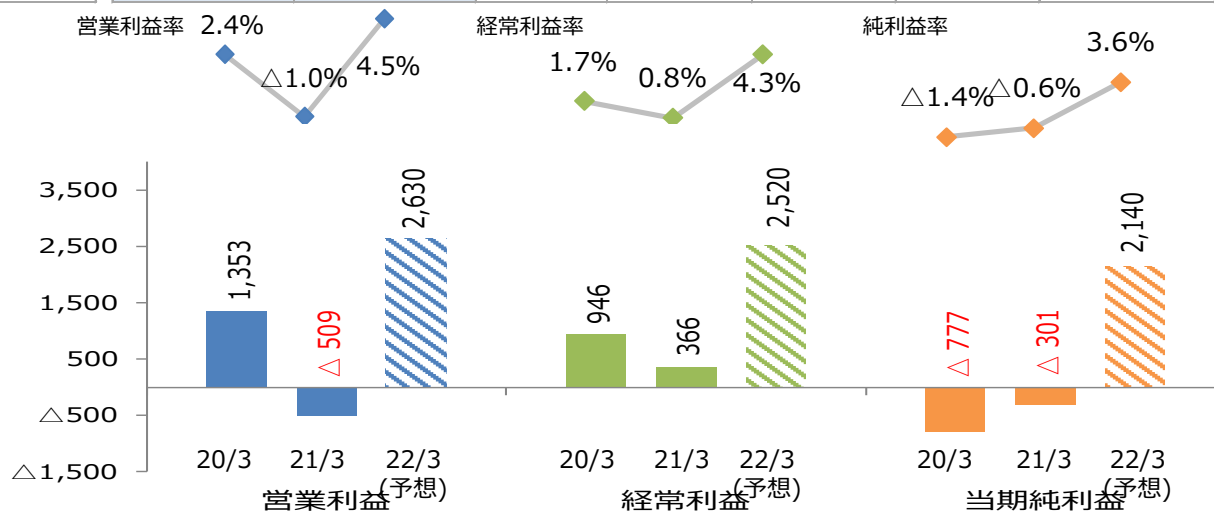
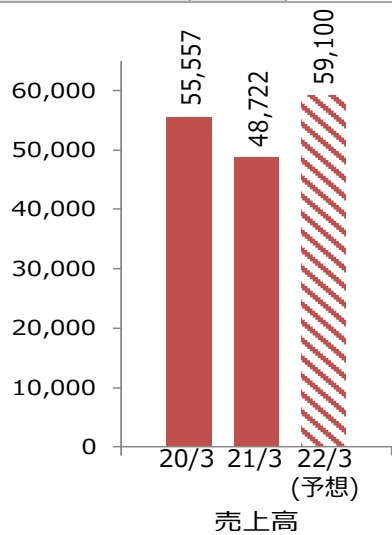
2022年3月期 連結業績

- ❖ 第3四半期実績
- ❖ 通期予想

連結業績予想ハイライト (2022年3月期)



(単位：百万円)	2021年3月期		2022年3月期						
	通期実績	売上高 比率	3Q累計 実績	通期予想	売上高 比率	前期比増減			前回予想比 増減額
						金額	率	率(除為替)	
■ 売上高	48,722	-	43,703	59,100	-	10,377	21.3%	18.3%	-
■ 営業利益	△ 509	△1.0%	2,285	2,630	4.5%	3,139	-	-	-
■ 経常利益	366	0.8%	2,294	2,520	4.3%	2,153	587.8%	-	-
■ 親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 301	△0.6%	2,076	2,140	3.6%	2,441	-	-	-
為替レート	米ドル	106.06円	111.10円	109.58円	-	3.52円	3.3%	-	-
(期中平均)	ユーロ	123.70円	130.62円	129.21円	-	5.51円	4.5%	-	-



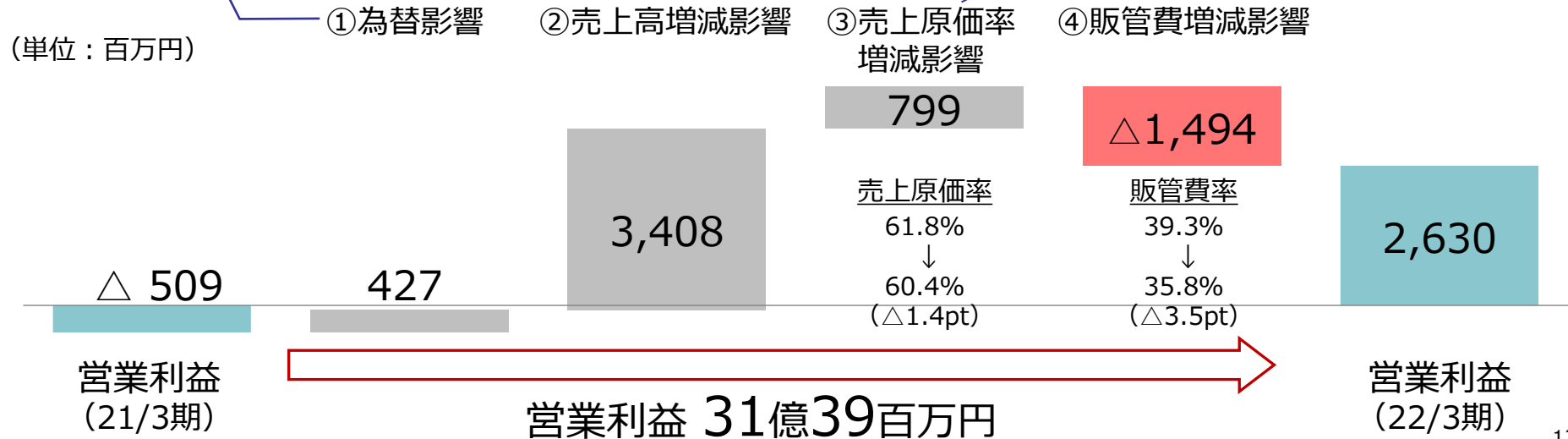
- 4Qの世界経済は、新型コロナウイルス変異株の感染再拡大による混乱や、世界的な部品・原材料不足と物流混乱による影響が、継続する見通し
- 4Q以降来期に向け、販売機会の最大化を目的に、引き続き部品等の積極的な調達・確保を進めるものの、一部入手困難な部材もあることから、生産面での制約による売上高への影響を見込むとともに、部品・原材料及び輸送費の高騰に伴う、売上原価率の悪化等による利益への影響を見込む
- 通期業績予想については、前回予想における上記環境影響の折り込み状況と、3Qまでの順調な業績の進捗を踏まえ、据え置きとする
- 引き続き、「Mimaki V10」で定めた重点施策に取り組み、業績回復の足取りを確かなものとする

営業利益増減要因 (21/3期実績 vs 22/3期予想)

【通貨別為替影響額】			
USD	106.06円 → 109.58円	+221	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; display: inline-block;"> <為替感応度 (1円/年)> 売上高 営業利益 USD 124 63 EUR 118 76 </div>
EUR	123.70円 → 129.21円	+424	
CNY	15.67円 → 17.07円	△286	
AUD	76.17円 → 81.27円	+68	
TRY	14.51円 → 12.68円	△87	
その他 (BRL, IDR等)		+87	
合計		427	

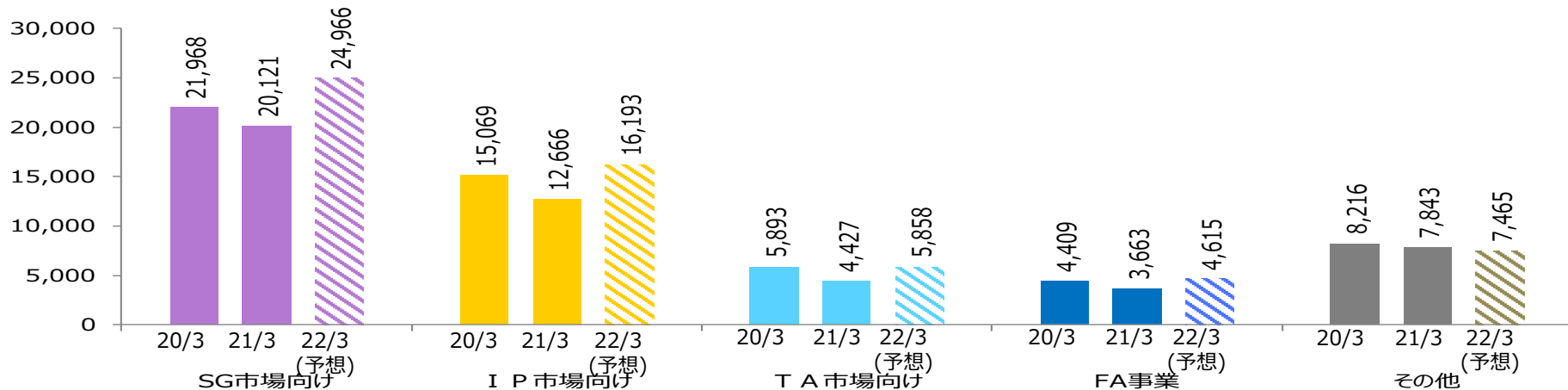
【売上・原価・営業利益への為替影響】
 売上高1,456 - 売上原価676 - 販管費352 = 営業利益427

売上原価率増減の要因
 21/3期の原価率(61.8%)には同上期構造改革に伴う原価率悪化分(1,401百万円: 2.9%)が含まれるため、これを除く実態の原価率(為替レートを22/3期予想レートと同一とした場合: 58.5%)との比較では、22/3期は1.9ptの悪化を見込む
 ⇒ 部品・原材料、輸送費高騰の影響等



市場別売上高予想 (2022年3月期)

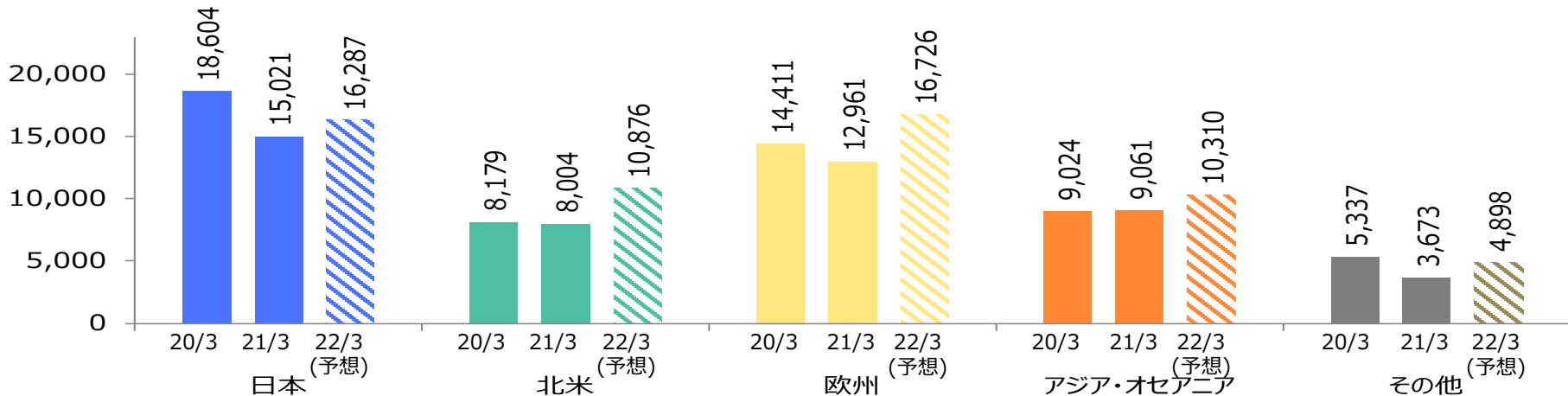
(単位：百万円)	2021年3月期		2022年3月期						
	通期実績	構成比率	3Q累計実績	通期予想	前期比増減			構成比率	前回予想比増減額
					金額	率	率(除為替)		
SG市場向け	20,121	41.3%	18,647	24,966	4,845	24.1%	20.5%	42.2%	-
IP市場向け	12,666	26.0%	11,558	16,193	3,526	27.8%	24.8%	27.4%	-
TA市場向け	4,427	9.1%	4,133	5,858	1,430	32.3%	28.1%	9.9%	-
FA事業	3,663	7.5%	2,940	4,615	952	26.0%	26.0%	7.8%	-
その他	7,843	16.1%	6,423	7,465	△ 378	△ 4.8%	-	12.6%	-
合計	48,722	100.0%	43,703	59,100	10,377	21.3%	18.3%	100.0%	-



エリア別売上高予想 (2022年3月期)

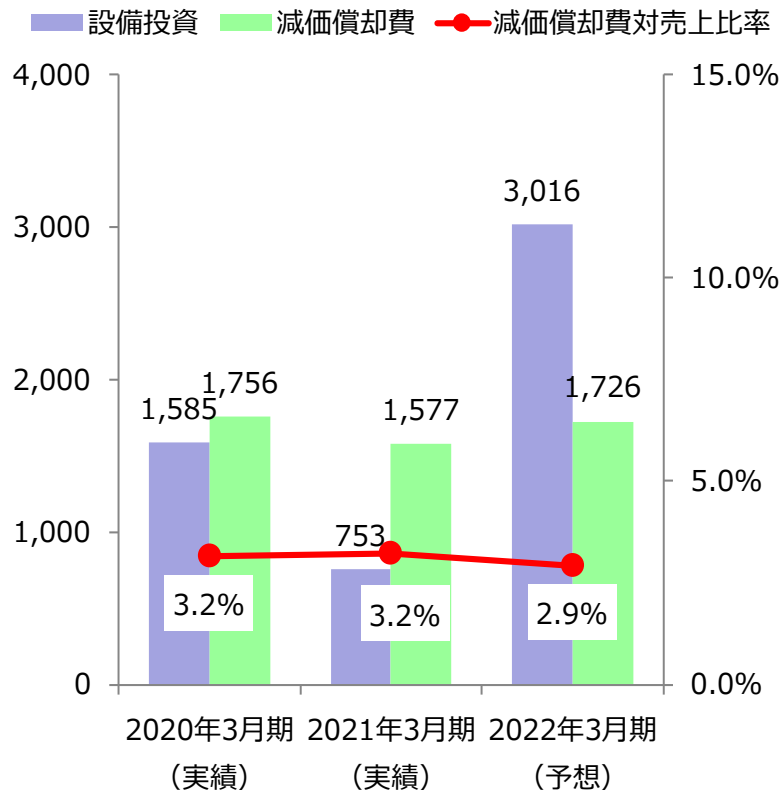


(単位：百万円)	2021年3月期		2022年3月期					
	通期実績	構成比率	3Q累計実績	通期予想	前期比増減		構成比率	前回予想比増減額
					金額	率		
■ 日本	15,021	30.8%	11,911	16,287	1,265	8.4%	27.6%	-
■ 北米 (現地通貨/\$)	8,004	16.4%	8,058	10,876	2,871	35.9%	18.4%	-
	75.4M	-	72.5M	99.2M	23.7M	31.5%	-	-
■ 欧州 (現地通貨/€)	12,961	26.6%	12,511	16,726	3,764	29.0%	28.3%	-
	104.7M	-	95.7M	129.4M	24.6M	23.5%	-	-
■ アジア・オセアニア	9,061	18.6%	7,554	10,310	1,248	13.8%	17.4%	-
■ その他	3,673	7.5%	3,666	4,898	1,225	33.4%	8.3%	-
合計	48,722	100.0%	43,703	59,100	10,377	21.3%	100.0%	-

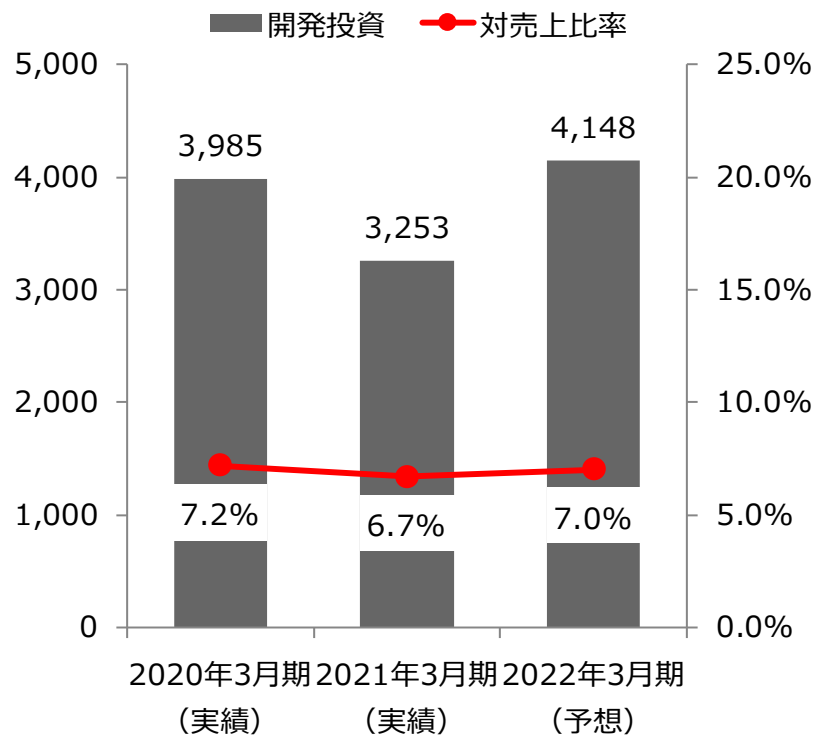


設備投資、減価償却、開発投資予想

(百万円)



(百万円)



※ 上記の金額は、研究開発活動に係る費用の総額を示すもので、既存製品の改良、応用等に関する費用が含まれております。

株主還元の方針

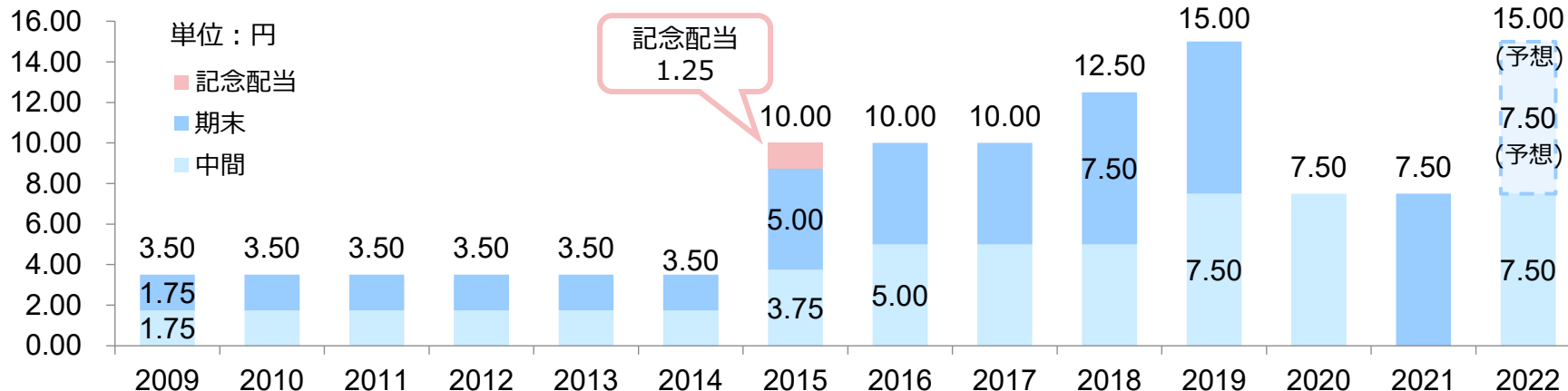
当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策と位置づけ、業績の成長に見合った成果の配分を安定的かつ継続的に行っていくことを基本方針としています

■ 2021年3月期 期末：7.5円に復配

2021年3月期中間期は無配としたものの、同下期の期間損益が黒字転換したこと、今後の事業見通し及び株主還元方針を総合的に勘案し、期末配当は7.5円に復配

■ 2022年3月期 中間：7.5円、 期末(予想)：7.5円

当期の事業見通し及び安定的・継続的な株主還元方針に基づき、年15.0円配当を予想



※ 2015年3月期の記念配当は東証一部上場に係るものであります

※ 2015年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しております（分割前の配当金は遡及修正して表示）

本資料に関するお問合せ先

株式会社 **ミマキエンジニアリング**

I R 部

TEL (本社) 0268(80)0058

TEL (東京) 03(6362)4290

E-mail mimaki-ir@mimaki.com

〔本資料お取扱い上のご注意〕

本資料は、株式会社ミマキエンジニアリング（以下、当社）を理解いただくため、当社が作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。